

はじめに

徳島県は、西日本第二の高峰「剣山」をはじめ雄大な山岳地形を有する「剣山国定公園」、変化に富んだ海岸線を持つ「室戸阿南海岸国定公園」、四国最大の流域面積を誇る「吉野川」に代表される数々の河川など、多様な自然に恵まれております。



古来より、私たちは、この豊かな自然から多くの恩恵を受け、「特色ある文化」や「地域資源を活かした産業」などを育て参りました。この「自然豊かな環境」と、そこに息づく「多種多様な野生生物」は、私たち県民はもとより、地球上に生きとし生けるもの全ての貴重な財産であり、未来に引き継いでいくべき「かけがえのない宝」であります。

そこで、本県では、「生物多様性という地域資源を活かしたコンパクトな循環型社会の実現」を目標とする「生物多様性とくしま戦略」を平成25年10月に策定し、様々な施策を展開して参りました。

その後、世界では、2015年の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられるとともに、同年にフランスで開かれた気候変動枠組み条約締約国会議では「パリ協定」が採択されました。本県では、平成29年1月、全国に先駆けて「徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例（愛称：すだちくん未来の地球条例）」を施行しており、国においても、先の通常国会で「気候変動適応法」が成立したところであります。

また、生態系や生物多様性を取り巻く状況が大きく変化し、ヒアリをはじめとする特定外来生物への対策が求められるなど、「人と自然の共生」を図る上での新たな課題も顕在化しております。

このたびは、世界の潮流や新たな課題に対応するべく、取組みの「方向性」や「目標」、課題解決に向けた「行動計画」や「重点プロジェクト」を改めて整理して、「生物多様性とくしま戦略2018－2023」としてとりまとめました。

今後は、当戦略の実現に向け、関係団体や事業者の皆様、そして県民の皆様一人ひとりが共に考え、行動する「新しい協働の形」の構築を図りますとともに、こうした協働での活動が県下全域へと広がっていくよう、しっかりと取り組んで参ります。皆様には、なお一層のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

結びに、本戦略の策定に当たり、貴重なご意見、ご提言を賜りました「生物多様性とくしま会議」や「生物多様性とくしま戦略検討小委員会」の委員の皆様をはじめ、関係の皆様は心から感謝を申し上げます。

平成30年10月

徳島県知事 飯泉 嘉門